

表 英国イノベーション戦略概要

第1の柱:ビジネスの解放(Unleashing Business)
<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発 (R&D) への年間公共投資額を過去最高の220億ポンドに拡大する ・「イノバートUK」と「英国ビジネス銀行」の間で、イノベーションとファイナンスのハブ機能を発展、連携させ、イノベティブ企業の資金調達時の負担を軽減する ・英国ライフサイエンス企業が抱える成長局面での資金不足を是正すべく、英国ビジネス銀行の「ライフサイエンス投資プログラム」を通じて2億ポンド投資する ・英国がイノベーションから最高の価値を引き出せるよう、規制について協議する ・同戦略実施を推進すべく、新たに「ビジネス・イノベーション・フォーラム」を設立する
第2の柱:人材 (People)
<ul style="list-style-type: none"> ・「高い潜在能力を有する個人 (High Potential Individual)」と「スケールアップ」向けに新たなビザルートを開設し高スキルで国際的に活躍するイノベーション人材を確保・誘致する ・「Help to Grow」を通じて、中小企業の上級管理職3万人を支援し、企業のパフォーマンスやレジリエンス、成長を促進する
第3の柱:施設と場所 (Institutions & Places)
<ul style="list-style-type: none"> ・フランシス・クリック研究所所長であり、ノーベル賞受賞者のポール・ナース教授を中心に、英国のあらゆる形態の研究や開発、イノベーションを行う組織について独立レビューを行う ・英国の研究開発能力を向上させ、地域の成長を支援すべく、「ストレングス・イン・プレイシズ・ファンド (Strength in Places Fund)」を通じて1億2,700万ポンドを配分する ・大学および企業のイノベーションによる経済成長を支援すべく、「コネクティング・ケイパビリティ・ファンド (Connecting Capability Fund)」に2,500万ポンドの資金を投入する
第4の柱:ミッションとテクノロジー (Missions & Technologies)
<ul style="list-style-type: none"> ・今後数年間に英国および世界が直面する最も重要な課題に取り組むべく、新たなイノベーション・ミッション・プログラムを開設する ・将来の経済を変革する主要な7つのテクノロジー分野を特定する※ ・革新的な新技術の開発に向けた企業主導の研究プロジェクトを興すべく、産業界や大学、政府から5,900万ポンドの投資をもとに、新たに「繁栄パートナーシップ (Prosperity Partnerships)」を立ち上げる

※英国が優先的に取り組む分野
・先端材料、製造
・人工知能 (AI)、デジタル、高度なコンピューティング
・バイオインフォマティクス(注)、ゲノミクス
・エンジニアリングバイオロジー
・電子工学、光工学、量子
・エネルギー、環境技術
・ロボット、スマートマシン

(注) 情報技術を生物学などに活用する分野。

(出所) 英国政府